

こども新聞

週刊がほピョンプリス

毎週日曜発行
2026 8/23

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

はやさがアドバイザーの

わくわく

防災クイズ

◆優先行動1

災害リスクを理解すること

問1

1978年の宮城県沖地震で大きな被害が出た主な原因はどちらでしょう？

A. 津波

B. ブロック塀の倒壊



問2

土砂災害のハザードマップはどちらでしょう？

A.

B.



「重ねるハザードマップ」より

◆優先行動2

災害リスクを管理すること

問3

普段使う食料や日用品を、使った分だけ買い足しながら備えることを何という？



A. ローリングストック

B. サバイバルストック

問4

この防災グッズは何でしょう？

A. 携帯トイレ

B. 防災ごみ袋

せん だい ぼう さい わく ぐみ
仙台防災枠組

2015年3月に仙台市であった第3回国連防災世界会議で採択されました。災害による死亡率や被災者の数、経済的な損失などに関し、2030年までの15年間で達成すべき目標を定めました。

目標を達成するための「四つの優先行動」がこちら

- ① 災害リスクを理解すること
- ② 災害リスクを管理すること
- ③ 防災・減災に投資すること
- ④ 災害に備え、より良い復興につなげること

災害リスクを理解しよう

6面に答えと解説

皆さんは、2015年に仙台市で開かれた国連の会議で、世界中の人々が話し合っ
て決めた防災の指針を知っていますか？

それは「仙台防災枠組」です。災害による被害を減らすための四つの「優先行動」が盛り込まれました。

「枠組」や「優先行動」と聞くと、難しそうと感じる人もいるかもしれませんが、でも内容をよく読むと、すごくシンプルなことが書かれています。今回は、そんな仙台防災枠組の内容を基に「わくわく防災クイズ」を考えました。

2回続きの初回のテーマは、優先行動の①災害リスクを理解すること②災害リスクを管理することです。この二つの優先行動には「災害から命を守るために地域の危険を知り、自分や家族への影響を考えよう」といったメッセージが込められています。

本やインターネットを使って調べたり、家族に聞いたりしてもいいので、ぜひクイズに挑戦してみてください。

(仙台市防災・減災アドバイザー 早坂政人)

津波避難タワーを見学 来月19日・仙台

仙台市と河北新報社は9月19日、宮城野区の「中野5丁目津波避難タワー」を見学する防災イベントを開きます。早坂さんが講師を務め、津波災害を体感できる仮想現実(VR)ゴーグルやロープを使ったワークショップも行います。午前10時～11時半。対象は小中学生の子どもと保護者。定員は先着順10組程度。参加無料。9月13日締め切り。駐車場あり。QRコードから申し込みます。連絡先は河北新報社教育・防災連携室022(211)1591。



きょうの紙面

- 2面 世界へんてこ建物ツアー
- 3面 連載「古代のモンスター」
- 4・5面 世界の子どもたち
- 6面 防災クイズ ワンポイントレッスン
- 7面 投稿特集
- 8面 Let's try 防災クッキング